

Weekly Report

第2201回例会 2017年11月29日 国際ロータリー第2580地区

武蔵村山RC
第46代クラブ会長
波多野 晃夫

2017~18年度RI会長 イアン H. S. ライズリー 2580地区ガバナー 吉田 雅俊

東京武蔵村山RC テーマ

「共に学び、そして実践しよう」

本日の例会

リーダー研修
田中 伸彦 研修リーダー

2017~18年度RIテーマ



ロータリー：
変化をもたらす

次回の例会

全員クラブ協議会

【第2200回例会週報】2017年11月22日(水)

司会 原田 友義 SAA会場運営委員

点鐘 波多野 晃夫 会長

会務報告 波多野 晃夫 会長

斉唱

「我等の生業」
ソングリーダー
篠原 幸宏 会員



来客紹介

- 當麻 誠 様
(地区資金推進委員長・卓話講師・東京東村山RC)
- セルヒオ<星流飛男>君
(青少年交換留学生)
・11月3、4日に文化祭があり楽しかったです。
・ホストファミリーが変わり、優しくしてもらってます。
・ハロウィンで仮装をしました。
・ドラえもん博物館や浅草に行きました。
・ラグビー部で試合や練習が大変です。

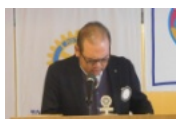


- 地区大会登録のお願い及び人頭分担金の振込依頼が届いています。
- 「青少年奉仕情報」が届いています。
- 多摩分区IMの礼状が届いています。
- 日台ロータリー親善会議の案内(再度)が届いています。切は11月30日(木) 申込の方は登録料を添えて申込下さい。
- 第4回多摩分区連絡会の案内
・12月8日(金)16:00~
・掬水亭
- 志々田会員より甲意礼状が届いています。
- 武蔵野大学より「武蔵野大学政治経済研究所通信」第18号を頂きました
- 入会候補者、前川優大さんの件
クラブ定款10条第3節及びクラブ内規第2条の定めるところにより
・11月1日の理事役員会に、書面提出される。
・同日の例会に、報告、回覧し、周知する。
・14日経過するも、意見書の提出はなし。
・このため、次回の理事役員会において審査の上、承認、不承認を決定することになります。

出席報告

| 会員数 | 出席者数 | 出席率 | 前々回出席率修正 |
|-----|------|--------|----------|
| 34名 | 27名 | 84.38% | なし |

- 出席免除会員
比留間 市郎 会員
榎本 昭 会員



幹事報告 新海 正人 幹事

- 例会臨時変更
・江戸川中央RC
12月1日 7日通常例会に変更
・豊島東RC
- *下期より月2回の例会開催に変更
(第2・第4水曜)
下期(1~6月の例会日)案内です。
メーカーに行かれる方は確認下さい。

○国際奉仕委員会 藤野委員長



来年6月の国際大会アンケート協力依頼が来ています。当クラブは参加者無しで報告しますが、もし参加希望の方がいましたら早めの登録をお願いします。

○社会奉仕委員会 原田委員長



希望の風奨学金への募金協力ををお願いします。

○新海幹事



- ・IMへの大勢の会員の参加ありがとうございました。
- ・当クラブ名称変更のアンケートを11月29日までにお願いします。



ニコニコBOX (志々田 陽介 親睦委員)

當麻誠様(東京東村山RC・卓話講師)卓話謝礼をニコニコへ頂きました。
 波多野晃夫会長・新海正人幹事 東京東村山RC 當麻様ようこそお越し下さいました。
 本日は卓話よろしくお願い致します。
 後藤正次会員 先生、西武会ゴルフで優勝することができました。田中会員と比留間一義会員のうまさにあおられた結果です。ありがとうございます。
 藤野豊会員 當麻さん、本日の卓話よろしくお願い致します。
 宮崎茂夫会員 地区財団資金推進委員長 當麻様、本日は卓話よろしくお願いいたします。
 志々田陽介会員 私事になりますが、村山うどんの会が全国うどんエキスポにて総合第3位に入ることができました。あたたかいご支援誠にありがとうございました。



今回計 31,000円
 累計 554,000円



国際ロータリー第2580地区ロータリー財団月間『次の100年に向けて踏み出した“はじめの一步”』
 地区資金推進委員長 當麻 誠 様

- ・ 昨年の武蔵村山RCの寄付金額は3,800ドル(一人当たり112ドル)で、6クラブ中6位でした。1位なら良いというわけではありませんが、ご理解をいただきたいと思えます。
- ・ 今期の目標は230ドルですが、毎年一人10,000円程度はお願いしたいと思えます。

財団の使命

- ・ 世界理解、親善、世界平和
- ・ バタフライ効果
- ・ 一人ひとりの寄付でも世界中で集まれば大きな力となります。
- ・ 例えば井戸を作る資金でも一人の力ではどうすることもできないが、世界中から資金が集まることで可能になります。

ロータリー財団の収支

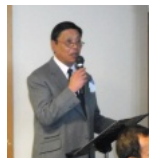
- ・ ロータリー財団への寄付(2015-16年度) 266億円
- ・ ロータリーの資産1,000億円超(2015-16年度終了時点)
- ・ 投資
- ・ 91%を財団プログラムとその運営費に使用しています。
- ・ 評価 チャリティナビゲーターより満点の評価をいただいています。
- ・ 2017-16年度募金目標 全世界で300億円を達成

財団プログラム

- ・ ポリオ撲滅プログラム
 予防はできるが症状が出ると回復は難しいのが現状である。1988年に流行国125か国で35万人だった感染者が活動の結果により2016年には流行国3か国で37人まで減少させることができた。
- ・ パートナー WHO、ユニセフ、CDC
- ・ アトランタ国際大会で日本政府が5,600万ドル(約55億円)の寄付を約束
- ・ ロータリー財団、一人230ドルが目標
- ・ ロータリー平和フェローシップ
- ・ 開設校 日本では国際基督教大学
- ・ 2002~2016年まで138名が学んでいる。
- ・ 補助金活用実績(2010~18年)
- ・ 61クラブ(88%)が補助金を活用している。

〔補助金の種類〕

- ・ 地区補助金
 1年以内に完了する比較的小規模な活動
- 1、物品寄贈
- 2、設置
- 3、イベント実施
- ・ グローバル補助金
 6つの重点分野に限定されている。
- ・ 当地区寄付金額67万米ドル
- ・ 税制上の優遇措置
 個人が寄付した場合、税額控除または所得控除のどちらか有利な方を選択できます。



『ロータリー財団の意義を理解の上、寄付にご協力をお願いいたします。』